

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2028年10月6日まで（2018年10月9日設定）	
運用方針	チャイナ・イノベーション マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として中国の企業の株式等（DR（預託証券）を含みます。）に投資を行います（なお、不動産投資信託証券に投資を行う場合があります。）。マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主要運用対象	ベビーファンド	チャイナ・イノベーション マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	中国の企業の株式等（DR（預託証券）を含みます。）を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベビーファンド	株式への実質投資割合に制限を設けません。外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。
	マザーファンド	株式への投資割合に制限を設けません。外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。	
	分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。（基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。）	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書（全体版）

チャイナ・
イノベーション・オープン

第8期（決算日：2022年10月20日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
 さて、お手持ちの「チャイナ・イノベーション・オープン」は、去る10月20日に第8期の決算を行いました。ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。
 今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
 ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用
フリーダイヤル **0120-151034**
 （受付時間：営業日の9:00～17:00、
土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客様の取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近5期の運用実績

決算期	基準 (分配落)	価額			株組入比率	株式先物比率	純資産額
		税金 分配	み 騰	期 落			
	円	円	騰	率	%	%	百万円
4期(2020年10月20日)	17,270	0	38.3	96.2	—	651	
5期(2021年4月20日)	19,651	0	13.8	95.6	—	1,040	
6期(2021年10月20日)	18,277	0	△ 7.0	91.5	—	840	
7期(2022年4月20日)	13,947	0	△23.7	92.6	—	502	
8期(2022年10月20日)	12,495	0	△10.4	90.8	—	448	

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基準	価額		株組入比率	株式先物比率
		騰	落		
(期首)	円	騰	率	%	%
2022年4月20日	13,947	—	—	92.6	—
4月末	13,005	△ 6.8	92.2	—	
5月末	13,507	△ 3.2	92.3	—	
6月末	16,059	15.1	90.8	—	
7月末	14,891	6.8	93.6	—	
8月末	14,378	3.1	93.1	—	
9月末	12,562	△ 9.9	91.2	—	
(期末)					
2022年10月20日	12,495	△10.4	90.8	—	

(注) 騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

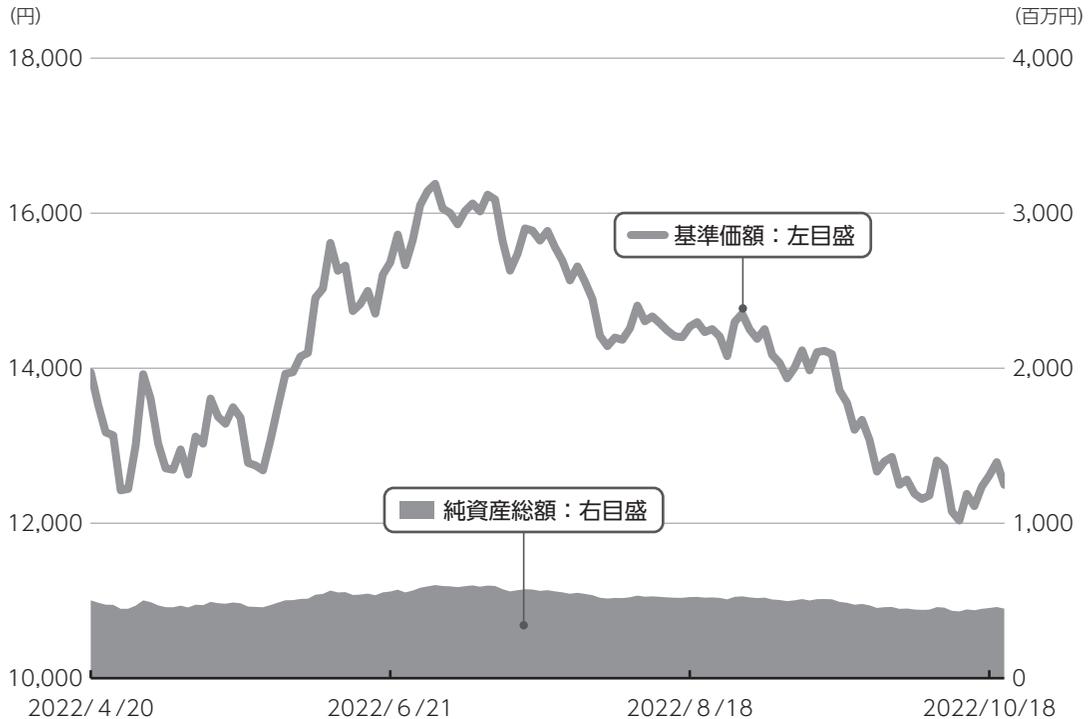
(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

第8期：2022年4月21日～2022年10月20日

▶ 当期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第8期首	13,947円
第8期末	12,495円
既払分配金	0円
騰落率	-10.4%

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は期首に比べ10.4%の下落となりました。

▶ 基準価額の変動要因

下落要因

組入銘柄である、データセンターの運営を手掛けるGDS HOLDINGS LTD - ADRや、インターネット企業のTENCENT HOLDINGS LTDなどの株価が下落したことが基準価額の下落要因となりました。

第8期：2022年4月21日～2022年10月20日

投資環境について

▶ 株式市況

香港及び中国本土株式市況は下落しました。

期首から2022年6月下旬にかけては、米連邦公開市場委員会（FOMC）における金融引き締め起因する米国の景気後退が警戒されたものの、中国国内で実施されている厳しい行動規制が緩和に向かうとの期待や中国当局による金融緩和策発表などを背景に上昇しました。7月上旬から期末にかけては、中国政府によるIT関連企業に対する規制強化懸念の再

燃に加えて、新型コロナウイルスの感染再拡大による行動規制強化が中国の景気減速懸念を根強いものに行っていることなどを背景に下落しました。

▶ 為替市況

香港ドル及び中国人民元は円に対して上昇しました。

香港ドルは、連動する米ドルに連れて円に対して上昇し、中国人民元（オフショア）も円に対して上昇しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

▶ チャイナ・イノベーション・オープン

チャイナ・イノベーション マザーファンド受益証券の組入比率を高位に保ち、実質的な運用はマザーファンドで行いました。

▶ チャイナ・イノベーション マザーファンド

中国の株式等を主要投資対象とし、次の時代を創る中国のイノベーション企業に投資し、主として中長期的な値上がり益の獲得をめざして運用を行いました。

銘柄選定にあたっては、工場自動化に必須となる産業用自動制御製品を生産する機械メーカーや、車載用電池の世界大手

企業などへの重点的な投資を継続しました。

ポートフォリオの保有銘柄数は、概ね30銘柄程度で推移し、期末は27銘柄となりました。

企業業績や株価動向を踏まえ、銘柄の入れ替えや組入比率の調整を行いました。その結果、XINYI SOLAR HOLDINGS LTDを新規購入しました。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第8期 2022年4月21日～2022年10月20日
当期分配金（対基準価額比率）	－（－％）
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	7,455

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針 (作成対象期間末での見解です。)

▶ チャイナ・イノベーション・オープン

引き続き、チャイナ・イノベーション
マザーファンド受益証券を主要投資対象
として運用を行います。

これまでと同様、マザーファンドの組入
比率を高位に保つ方針です。

▶ チャイナ・イノベーション マザー ファンド

引き続き、中国の株式等を主要投資対象
とし、次の時代を創る中国のイノベー
ション企業に投資することで、主として
中長期的な値上がり益の獲得をめざして
運用を行います。

中国の景気減速や、米国の金融政策や景
気動向、地政学リスクなどが懸念されて
いますが、2022年10月に開催された共
産党大会を経て発足した新指導部による
政策に対する不透明感も加わり、香港株
式市況および中国本土株式市況は神経質
な値動きが続くと思われま。

実体経済については、全国人民代表大会
(全人代)で設定された2022年の経済成
長率目標の達成は実現が困難になってい
ます。一方で、ゼロコロナ対策の継続に
よる消費の回復の遅れが見込まれるもの
の、緩和的な金融政策や財政刺激策によ
り景気を下支えする姿勢が示されており、
企業業績は緩やかに改善していくと予想

しております。香港株式市況および中国
本土株式市況は、中長期的にはこうした
企業業績を反映した動きに戻っていくと
見込んでいます。

中国政府による中長期的な政策支援の恩
恵が期待できる半導体関連企業や脱炭素
の取り組みによる恩恵が期待できる中国
企業に注目しています。

株式組入比率については、概ね90%以上
の水準を維持する方針です。

2022年4月21日～2022年10月20日

1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	121	0.855	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (期中の日数 ÷ 年間日数)
(投 信 会 社)	(59)	(0.414)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(59)	(0.414)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(4)	(0.028)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	1	0.006	(b) 売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料 ÷ 期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(株 式)	(1)	(0.006)	
(c) 有価証券取引税	1	0.004	(c) 有価証券取引税 = 期中の有価証券取引税 ÷ 期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(1)	(0.004)	
(d) その他費用	7	0.046	(d) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(6)	(0.043)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
(そ の 他)	(0)	(0.002)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	130	0.911	

期中の平均基準価額は、14,150円です。

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

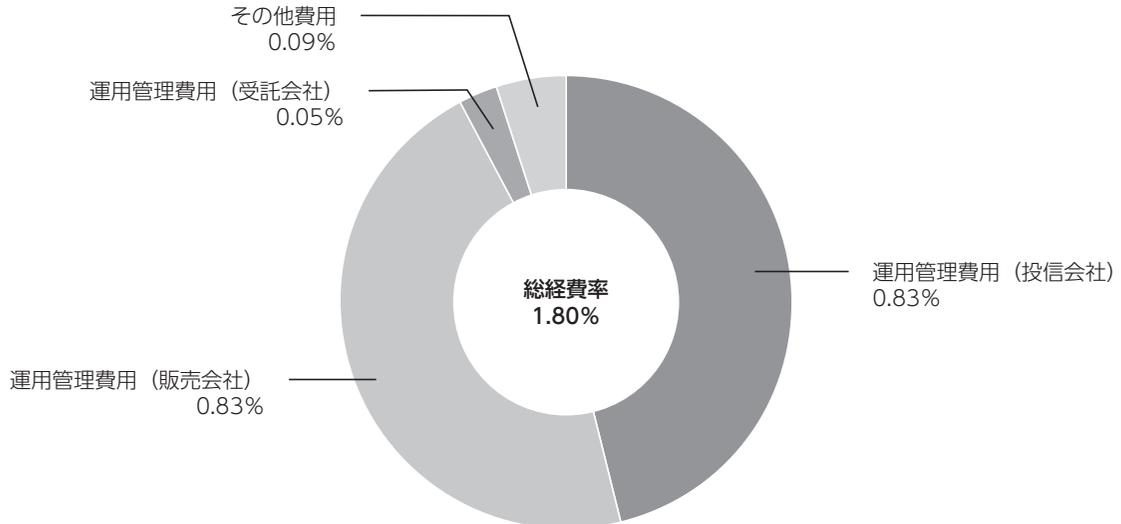
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.80%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2022年4月21日～2022年10月20日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
チャイナ・イノベーション マザーファンド	千口 16,064	千円 26,130	千口 19,497	千円 31,547

○株式売買比率

(2022年4月21日～2022年10月20日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当	期
	チャイナ・イノベーション マザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額		15,429千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額		469,103千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)		0.03

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2022年4月21日～2022年10月20日)

利害関係人との取引状況

<チャイナ・イノベーション・オープン>

該当事項はございません。

<チャイナ・イノベーション マザーファンド>

区分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B		売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	
			$\frac{B}{A}$			$\frac{D}{C}$
為替直物取引	百万円 -	百万円 -	% -	百万円 14	百万円 14	% 100.0

平均保有割合 100.0%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とはモルガン・スタンレーMUF G証券です。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2022年4月21日～2022年10月20日)

期首残高(元本)	当期設定元本	当期解約元本	期末残高(元本)	取引の理由
百万円 240	百万円 -	百万円 -	百万円 240	当初設定時における取得

○組入資産の明細

(2022年10月20日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
チャイナ・イノベーション マザーファンド	千口 335,190	千口 331,757	千円 444,024

○投資信託財産の構成

(2022年10月20日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
チャイナ・イノベーション マザーファンド	千円 444,024	% 98.0
コール・ローン等、その他	9,190	2.0
投資信託財産総額	453,214	100.0

(注) チャイナ・イノベーション マザーファンドにおいて、期末における外貨建純資産(427,670千円)の投資信託財産総額(444,013千円)に対する比率は96.3%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=149.98円	1 香港ドル=19.11円	1 オフショア元=20.6392円
------------------	---------------	-------------------

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2022年10月20日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	453,214,609
コール・ローン等	9,190,235
チャイナ・イノベーション マザーファンド(評価額)	444,024,374
(B) 負債	4,392,900
未払解約金	19,953
未払信託報酬	4,364,266
未払利息	17
その他未払費用	8,664
(C) 純資産総額(A-B)	448,821,709
元本	359,205,873
次期繰越損益金	89,615,836
(D) 受益権総口数	359,205,873口
1万口当たり基準価額(C/D)	12,495円

<注記事項>

- ①期首元本額 359,950,435円
 期中追加設定元本額 27,609,248円
 期中一部解約元本額 28,353,810円
 また、1口当たり純資産額は、期末12,495円です。

②分配金の計算過程

項 目	2022年4月21日～ 2022年10月20日
費用控除後の配当等収益額	-円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	-円
収益調整金額	175,347,456円
分配準備積立金額	92,449,166円
当ファンドの分配対象収益額	267,796,622円
1万口当たり収益分配対象額	7,455円
1万口当たり分配金額	-円
収益分配金金額	-円

*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>) をご覧ください。

○損益の状況 (2022年4月21日～2022年10月20日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 1,106
受取利息	5
支払利息	△ 1,111
(B) 有価証券売買損益	△ 50,610,100
売買益	3,228,269
売買損	△ 53,838,369
(C) 信託報酬等	△ 4,372,930
(D) 当期繰越損益金(A+B+C)	△ 54,984,136
(E) 前期繰越損益金	△ 87,495,562
(F) 追加信託差損益金	232,095,534
(配当等相当額)	(175,288,476)
(売買損益相当額)	(56,807,058)
(G) 計(D+E+F)	89,615,836
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	89,615,836
追加信託差損益金	232,095,534
(配当等相当額)	(175,347,456)
(売買損益相当額)	(56,748,078)
分配準備積立金	92,449,166
繰越損益金	△234,928,864

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

チャイナ・イノベーション マザーファンド

《第8期》決算日2022年10月20日

[計算期間：2022年4月21日～2022年10月20日]

「チャイナ・イノベーション マザーファンド」は、10月20日に第8期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第8期の運用状況をご報告申し上げます。

運 用 方 針	主として中国の企業の株式等に投資を行います（なお、不動産投資信託証券に投資を行う場合があります。）。 株式等への投資にあたっては、次の時代を創るイノベーションを見極め、未来をけん引する銘柄を選定します。 株式等の組入比率は高位を維持することを基本とします。 組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主 要 運 用 対 象	中国の企業の株式等（DR（預託証券）を含みます。）を主要投資対象とします。
主 な 組 入 制 限	株式への投資割合に制限を設けません。 外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率	純 総 資 産 額
	期 騰 落	中 率			
4 期 (2020年10月20日)	円	%	%	%	百万円
5 期 (2021年4月20日)	17,965	39.9	97.2	—	645
6 期 (2021年10月20日)	20,627	14.8	96.5	—	1,030
7 期 (2022年4月20日)	19,331	△ 6.3	92.4	—	831
8 期 (2022年10月20日)	14,833	△ 23.3	93.5	—	497
	13,384	△ 9.8	91.8	—	444

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額 騰 落 率	株 組 入 比 率	株 先 物 比 率
(期 首) 2022年 4 月 20 日	円 14,833	% 93.5	% —
4 月 末	13,826	△ 6.8	93.0
5 月 末	14,386	△ 3.0	93.2
6 月 末	17,157	15.7	91.8
7 月 末	15,918	7.3	94.6
8 月 末	15,388	3.7	94.0
9 月 末	13,444	△ 9.4	92.1
(期 末) 2022年 10 月 20 日	13,384	△ 9.8	91.8

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ9.8%の下落となりました。

基準価額等の推移



●基準価額の主な変動要因

(下落要因)

組入銘柄である、データセンターの運営を手掛けるGDS HOLDINGS LTD - ADR や、インターネット企業のTENCENT HOLDINGS LTDなどの株価が下落したことが基準価額の下落要因となりました。

●投資環境について

◎株式市況

・香港及び中国本土株式市況は下落しました。
期首から2022年6月下旬にかけては、米連邦公開市場委員会（FOMC）における金融引き締め起因する米国の景気後退が警戒されたものの、中国国内で実施されている厳しい行動規制が緩和に向かうとの期待や中国当局による金融緩和策発表などを背景に上昇しました。7月上旬から期末にかけては、中国政府によるIT関連企業に対する規制強化懸念の再燃に加えて、新型コロナウイルスの感染再拡大による行動規制強化が中国の景気減速懸念を根強いものになっていることなどを背景に下落しました。

◎為替市況

- ・香港ドル及び中国人民元は円に対して上昇しました。
香港ドルは、連動する米ドルに連れて円に対して上昇し、中国人民元（オフショア）も円に対して上昇しました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

- ・中国の株式等を主要投資対象とし、次の時代を創る中国のイノベーション企業に投資し、主として中長期的な値上がり益の獲得をめざして運用を行いました。
- ・銘柄選定にあたっては、工場自動化に必須となる産業用自動制御製品を生産する機械メーカーや、車載用電池の世界大手企業などへの重点的な投資を継続しました。
- ・ポートフォリオの保有銘柄数は、概ね30銘柄程度で推移し、期末は27銘柄となりました。
- ・企業業績や株価動向を踏まえ、銘柄の入れ替えや組入比率の調整を行いました。その結果、XINYI SOLAR HOLDINGS LTDを新規購入しました。

○今後の運用方針

- ・引き続き、中国の株式等を主要投資対象とし、次の時代を創る中国のイノベーション企業に投資することで、主として中長期的な値上がり益の獲得をめざして運用を行います。
- ・中国の景気減速や、米国の金融政策や景気動向、地政学リスクなどが懸念されていますが、2022年10月に開催された共産党大会を経て発足した新指導部による政策に対する不透明感も加わり、香港株式市況および中国本土株式市況は神経質な値動きが続くと思われます。
- ・実体経済については、全国人民代表大会（全人代）で設定された2022年の経済成長率目標の達成は実現が困難になっています。一方で、ゼロコロナ対策の継続による消費の回復の遅れが見込まれるものの、緩和的な金融政策や財政刺激策により景気を下支えする姿勢が示されており、企業業績は緩やかに改善していくと予想しております。香港株式市況および中国本土株式市況は、中長期的にはこうした企業業績を反映した動きに戻っていくと見込んでいます。
- ・中国政府による中長期的な政策支援の恩恵が期待できる半導体関連企業や脱炭素の取り組みによる恩恵が期待できる中国企業に注目しています。
- ・株式組入比率については、概ね90%以上の水準を維持する方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2022年4月21日～2022年10月20日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	円 1 (1)	% 0.006 (0.006)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	1 (1)	0.004 (0.004)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	7 (7) (0)	0.045 (0.043) (0.002)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用 信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	9	0.055	
期中の平均基準価額は、15,114円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○ 売 買 及 び 取 引 の 状 況

(2022年4月21日～2022年10月20日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外	香港	百株 240	千香港ドル 298	百株 —	千香港ドル —
国	中国オフショア	— (137)	千オフショア元 — (—)	74	千オフショア元 511

(注) 金額は受渡代金。

(注) ()内は株式分割・増資割当および合併等による増減分です。

○株式売買比率

(2022年4月21日～2022年10月20日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	15,429千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	469,103千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.03

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2022年4月21日～2022年10月20日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$		うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$	
為替直物取引	百万円 —	百万円 —	% —	百万円 14	百万円 14	% 100.0

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とはモルガン・スタンレーMUF G証券です。

○組入資産の明細

(2022年10月20日現在)

外国株式

銘柄	株数	金額	期首(前期末)		当 期 末		業 種 等
			株 数	株 数	評 価 額		
					外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千アメリカドル	千円			
BAIDU INC - SPON ADR	6	6	62	9,372			メディア・娯楽
JD.COM INC-ADR	8	8	34	5,174			小売
GDS HOLDINGS LTD - ADR	84	84	122	18,352			ソフトウェア・サービス
小 計	株 数 ・ 金 額	99	99	219	32,899		
	銘柄 数 < 比 率 >	3	3	—	<7.4%>		
(香港)			千香港ドル				
BYD CO LTD-H	30	30	595	11,374			自動車・自動車部品
PING AN INSURANCE GROUP CO-H	185	185	690	13,204			保険
TENCENT HOLDINGS LTD	69	69	1,683	32,173			メディア・娯楽
SHENZHOU INTERNATIONAL GROUP	218	218	1,351	25,829			耐久消費財・アパレル
SUNNY OPTICAL TECH	31	31	231	4,422			テクノロジー・ハードウェアおよび機器
XINYI SOLAR HOLDINGS LTD	—	240	186	3,563			半導体・半導体製造装置
HUA HONG SEMICONDUCTOR LTD	200	200	333	6,375			半導体・半導体製造装置
WUXI BIOLOGICS CAYMAN INC	225	225	1,062	20,294			医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
PING AN HEALTHCARE AND TECH	222	222	319	6,100			小売
GREENTOWN SERVICE GROUP CO L	380	380	161	3,086			不動産
CHINA TOWER CORP LTD-H	2,320	2,320	190	3,635			電気通信サービス
MEITUAN-CLASS B	80	80	1,156	22,091			小売
ALIBABA GROUP HOLDING LTD	208	208	1,512	28,897			小売
JD.COM INC - CL A	3	3	59	1,132			小売
小 計	株 数 ・ 金 額	4,171	4,411	9,533	182,181		
	銘柄 数 < 比 率 >	13	14	—	<41.0%>		
(中国オフショア)			千オフショア元				
SHENZHEN INOVANCE TECHNOLO-A	360	298	1,948	40,223			資本財
JIANGSU HENGRUI MEDICINE C-A	97	97	378	7,815			医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
BEIJING EASPRING MATERIAL-A	227	215	1,418	29,272			資本財
IFLYTEK CO LTD - A	48	48	156	3,239			ソフトウェア・サービス
LONGI GREEN ENERGY TECHNOL-A	74	103	508	10,505			半導体・半導体製造装置
LUXSHARE PRECISIONIndustr-A	252	252	735	15,181			テクノロジー・ハードウェアおよび機器
ATER EYE HOSPITAL GROUP CO-A	264	344	1,031	21,284			ヘルスケア機器・サービス
NAVINFO CO LTD-A	78	78	94	1,943			ソフトウェア・サービス
CONTEMPORARY AMPEREX TECHN-A	41	41	1,768	36,500			資本財
SG MICRO CORP-A	57	85	1,291	26,646			半導体・半導体製造装置
小 計	株 数 ・ 金 額	1,499	1,563	9,332	192,612		
	銘柄 数 < 比 率 >	10	10	—	<43.4%>		
合 計	株 数 ・ 金 額	5,770	6,074	—	407,692		
	銘柄 数 < 比 率 >	26	27	—	<91.8%>		

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

○投資信託財産の構成

(2022年10月20日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	千円 407,692	% 91.8
コール・ローン等、その他	36,321	8.2
投資信託財産総額	444,013	100.0

(注) 期末における外貨建純資産 (427,670千円) の投資信託財産総額 (444,013千円) に対する比率は96.3%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=149.98円	1 香港ドル=19.11円	1 オフショア元=20.6392円
------------------	---------------	-------------------

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2022年10月20日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資産	444,013,759 円
コール・ローン等	35,782,006
株式(評価額)	407,692,918
未収配当金	538,835
(B) 負債	30
未払利息	30
(C) 純資産総額(A-B)	444,013,729
元本	331,757,602
次期繰越損益金	112,256,127
(D) 受益権総口数	331,757,602口
1万口当たり基準価額(C/D)	13,384円

<注記事項>

- ①期首元本額 335,190,517円
 期中追加設定元本額 16,064,932円
 期中一部解約元本額 19,497,847円
 また、1口当たり純資産額は、期末1.3384円です。

②期末における元本の内訳 (当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

チャイナ・イノベーション・オープン 331,757,602円

○損益の状況 (2022年4月21日～2022年10月20日)

項 目	当 期
(A) 配当等収益	3,050,566 円
受取配当金	3,045,892
受取利息	6,148
支払利息	△ 1,474
(B) 有価証券売買損益	△ 50,554,505
売買益	62,659,707
売買損	△113,214,212
(C) 保管費用等	△ 245,289
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 47,749,228
(E) 前期繰越損益金	161,989,575
(F) 追加信託差損益金	10,065,823
(G) 解約差損益金	△ 12,050,043
(H) 計(D+E+F+G)	112,256,127
次期繰越損益金(H)	112,256,127

(注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。